

関係各位

レンゴー株式会社
広報部広報課

『デルタフルーツ』段ボール、誕生！
“Less is more.”
段ボールの新たな未来を拓くイノベーション


レンゴー株式会社（本社：大阪市北区 社長：大坪 清）は、段ボールの新たな規格となる『デルタフルーツ』段ボールを開発し、この度、販売を開始することになりましたのでお知らせいたします。

段ボールもアーキテクチャ（建築）のひとつであり、古代ローマ（クレオパトラの時代）より大切にされてきた建築設計の概念「用・強・美」（用：機能、強：構造、美：美しさ）が、三位一体となって、軽薄炭少^{※1}をさらに進化させたアーキテクトを完成させました。

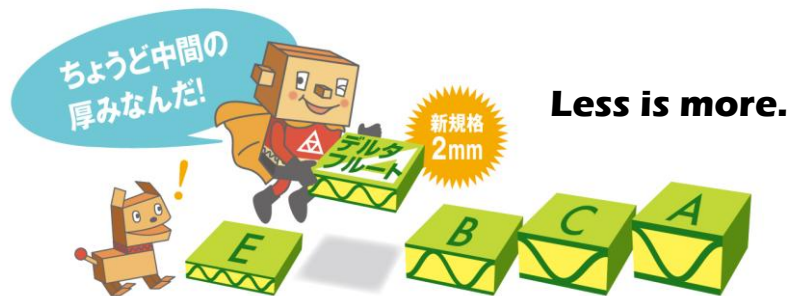
“Less is more.” 少資源で大きな価値を生む段ボールの新たなイノベーション、それが『デルタフルーツ』です。


『デルタフルーツ』は、缶飲料などの包装に使用されるBフルーツ^{※2}（厚さ約 3 mm）と、贈答箱などに用いられるEフルーツ（厚さ約 1.5 mm）の中間の厚みを有する段ボールで、これまでにないレンゴーオリジナルの全く新しい規格です。地球環境への負荷をより低減するため、段ボールの軽量化、高機能化の一環として、今後ユーザーへの転換を呼びかけてまいります。

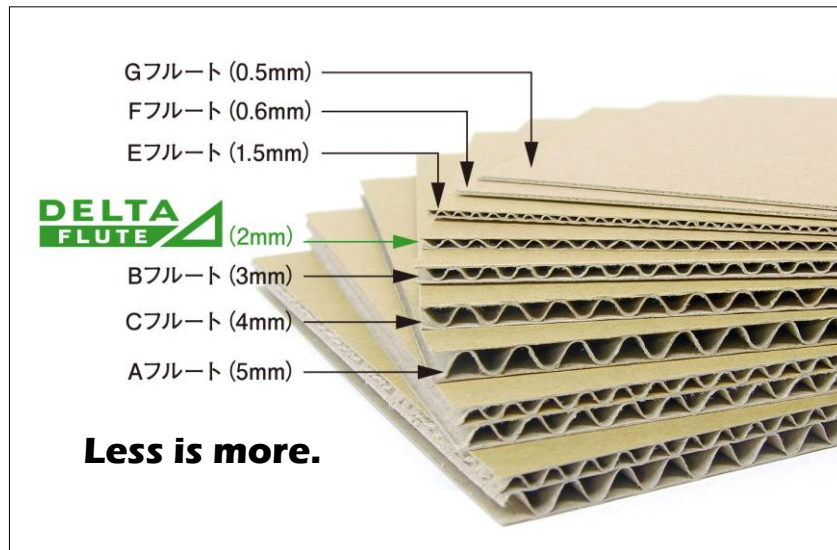
わが国で初めて段ボールを世に送り出した当社は、100年以上にわたり段ボールのイノベーションをリードしてまいりました。“Less is more.” 『デルタフルーツ』はその象徴であり、あらゆる産業の全ての包装ニーズに積極的に働きかける、提案型の企業グループ「ゼネラル・パッケージング・インダストリー＝GPI レンゴー」として、これからも段ボールの新たな未来を拓いてまいります。

『デルタフルーツ段ボール』の概要 

- ◆厚さ 約 2 mm
- ◆段山数 60±2/30 cm
- ◆特徴
 - ① Bフルーツより輸送・保管の効率が高まり、包装のさらなる効率化、合理化を実現します。
 - ② 段ボールのさらなる軽量化を通じて、CO₂排出量を減らし環境負荷を低減します。
 - ③ Bフルーツに比べ平面圧縮強度が高く、より美しくシャープな印刷が可能です。
 - ④ Eフルーツより高強度のため、中間箱の機能を兼ねた外装段ボールとして使用することも可能です。
- ◆生産開始 2013年春から当社全国段ボール工場にて順次生産開始予定。



Bフルーツ(3mm)とEフルーツ(1.5mm)の中間
デルタフルーツ  **新登場!**



Bフルートよりエコロジー、Eフルートよりストロングなデルタフルート

(注)

※1 軽薄炭少[®]

軽くても強く、薄くても丈夫、CO₂排出量も少ないパッケージづくりをめざす、レンゴグループの環境への取り組みのキーワードです。

Aフルート(厚さ約5mm)段ボールからCフルート(厚さ約4mm)段ボールへの転換、軽量LCC原紙の開発など、段ボールの軽量化の推進や、昼間の使用電力をすべて太陽光発電で賄う福島矢吹工場の建設など、製品と生産プロセスの両面で地球環境への負荷低減を見据えた省資源・省エネの取り組みを推進しています。

※2 フルード

段ボールの中しんの波形のこと。つづりは英語でfluteと、楽器のフルードと全く同じです。

◆ニュースリリースに関するお問合せ先

広報部広報課 後藤、笠原 : 03-6716-7333

以上